

派遣報告書

平成 24 年 2 月 29 日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会
(代表) 議員

坂井 敏 (印)

次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

1 派遣期間	平成 24 年 3 月 25 日 (日) から平成 24 年 3 月 26 日 (日) まで
2 派遣先	詳細 添付 別紙 の 通
3 視察 (調査) 議員名	
4 面会者	
5 派遣目的	
6 視察の経過及び感想	
7 添付書類	
(1)	
(2)	

要した経費： 1 人合計 21,370 円

視察日時

24-3-25(日) ~ 24-3-26(月)

〃 先

広島県竹原市 ①竹原市役所 ② ちぢみ工房

〃 目的

竹原に特記した街づくりについて研修

出席者 ①竹原市役所

まちづくり推進課

広近 瑛 氏

文化生涯学習課

西口 広崇 氏

〃

森本 繁郎 氏

② ちぢみ工房

小野 貞一 氏

吉名 君司 氏

町並保存地区全体の印象

現竹原駅が塩田埋立地に立地した為繁華街が伝建地区から移動した
ことにより本陣跡を含む伝建地区は解体、改築を繰り返す等によりいっ形に消失しており
南北500m、東西100mの区画は非常にコンパクトにまとめた町並であった。
安芸の小京都の雰囲気であったととても驚きを感じた。

年間観光客は20万人程とのことであったが伝建地区のテーマでもある人工の街を地元の
ひとが古き良き建物と文化財を保存したいと思う市の担当部署と当該地域と観光資源
として使いたい商工連団体や商売人の両者の思惑の違いにより折衝を繰り返して
きた課題が何年か続いていると感じた。

町並の特徴

町並保存会が環境整備の大まな役割を担っており、竹原市と協力しながら生活臭の
ある古民家の殆どを玄關には竹器・輪巻しに花が飾られ、街角には太い
孟宗竹をくり抜いてカニバロー東北などの4m位の木柱が各所に建てかけられ、各種
看板・表示板も竹に文字を彫り、竹を利用した町並の統一感や印象的であった。

倉吉市の伝建地には大いに参考とすべきと念入ることかひと。
これら道路側溝のふたが金属製の物ではなく 以前は堅木と塗装した物を使い
現在は強化プラスチックと木質に加工して塗装した物と使用しており 町並にマッチ
していると感じた 倉吉市伝建地での整備時参考にしてほしい。

まろみ竹工房と視察して

出発当初は定年退職後の市民の自主製作と天気のゆるぎを解消
と目的として市が古民家と買収し 竹芸振興協会の下部組織として まろみ竹工房の
会員60人位の方に利用してもらう為に申請された施設であった。

会員の技術習得の場 九州 別府から竹製品作りのプロを呼び、会員に午ほどまもりに
現在40人が製作に励み 工房に自分で出来た作品を展示し販売している。

会員は4人ほど組で交替で建物の管理運営にたがっている。
現在は光熱水費、家賃などの市費負担で維持しているが 25年度から自立しよう
方向と伺った。
自立しゆく団体としてさらに工夫をこらさないといい。今後に期待できると思っています。

* 製品は300円〜10万円位が様々だが 本音で言えば 倉吉市の中野竹芸工場の製品と
比較するとセミプロの域に見え 土産物や生活用品として見た場合 中野竹芸さんの
製作品と技術は本音で素晴らしいものであると確信している。